

●食に関する指導の年間指導計画(中学校 社会科 理科 保健体育科)

健康教育目標		生涯にわたり健康な生活が送れるよう、健康・安全に関する実践力を育成する。					
食育の目標		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活や将来の課題を見つけ、朝食を必ず摂るなど、望ましい食習慣を理解して、実践する力を身に付ける。 ・食文化や食品の生産・流通について理解を深め、食事を通して豊かな心と望ましい人間関係を構築できる。 ・食物の働きや栄養について理解し、献立・調理にも関心をもち、日常生活に生かしていくことができる。 					
		I期 (4月・5月・6月)	II期 (7月・8月・9月)	III期 (10月・11月・12月)	IV期 (1月・2月・3月)		
教科・特別の教科 道徳・総合的な学習の時間	社会科	地理的分野	【第1学年】 世界各地の人々の生活と環境<文> 多様化した食生活を通して環境に適した食生活を理解する。		【第1学年】 世界と比べた日本<文> 地域間の結びつき、資源や産業の面から考察する。我が国の地理的事象を資料や統計から読みとり、その特色を理解するとともに、課題設定ができるようにする。	【第1学年】 世界のさまざまな地域の調査<選・社・食> 日本の食事と他国の食事を比較考察する。	
					【第2学年】 世界の国々を調べよう<重・文> 市町村規模や都道府県規模の地域の調査を比較しながら、他国との国家規模の特色を捉え、農産物と気候の関係などを考察する。		
		歴史的分野	【第2学年】 二度の世界大戦と日本<文> 戦時中の経済の混乱と社会問題、食料問題について調べ、戦争の惨禍が国民全体に及ぼす影響について考察する。		【第2学年】 近代日本と世界<文> 近代産業革命を経て発展した中で国民の食生活の変化について、歴史的流れと時代の特色を関連させながら考察する。	【第1学年】 中世の日本と世界<重・文> 畿内を中心とした都市や農村における自治的なしくみが生んだ農業や産業の発達を考える。そして今日につながる食文化へのつながりがあることに興味を持つ。	
			【第3学年】 現代社会とわたしたちの生活<文> 高度経済成長と人々の食生活の変化について調べ、豊かになった側面と社会問題をかかえた側面があることを理解する。		【第3学年】 私たちのくらし経済<重・健・文> 身近な消費生活を通して、食生活が人間の生活や健康の維持向上に欠かせないものであるということを理解する。	【第3学年】 地域社会と私たち<重・文> 世界平和の実現のため、国家間の相互協力について理解するとともに、人口問題、食糧問題について学習し、よりよい社会を築くために何ができるかを考察する。	
		理科	第2分野	【第1学年】 植物の生活と種類<感> 植物の分類の学習と関連させて、身の回りにある野菜が植物体のどの部分にあたるかについて理解する。			
				【第2学年】 動物の生活と種類<重・感> 動物によって食べ物やその摂り方が異なることについて考察し、生きていく上で食べ物は欠かせないことを理解する。	【第2学年】 動物の生活と種類<重> 食べ物の中の栄養分やその摂り方の学習を通して、人間の生活エネルギーとなる栄養について考察し、栄養分を摂る必要性について理解する。		
						【第3学年】 自然と人間<重・感> 食物連鎖の学習を通して、生物同士が食べ物でつながっていることを理解する。	
	保健体育科	保健分野	【第1学年】 心身の発達と心の健康<重・健> 思春期は、身長や体重が急速に発育する時期に当たったことを理解し、望ましい発育・発達のためにはどのような生活を送ったらよいか考えさせ、実践への意欲を持たせる。	【第2学年】 健康と環境<重・健> 体内の水分が栄養物資や酸素の運動、老廃物の排出など、生命を保つために重要な役割を果たしていることを理解する。	【第3学年】 健康な生活と疾病の予防①<重・健> 人間の健康は生体と環境がかかわり合っており、健康の保持増進や疾病予防を図るためには、調和のとれた食事、適切な運動、休養及び睡眠が必要であることを理解する。	【第3学年】 健康な生活と疾病の予防②<重・健> 感染症は、病原体が環境を通じて主体に感染することで起こる病気であり、適切な対策を講ずることにより予防できること、また栄養状態を良好にして体の抵抗力を高めることが有効であることを理解する。	

※ <>内は、食に関する指導の内容を示す。 <重>食事の重要性 <健>心身の健康 <選>食品を選択する力 <感>感謝の心 <社>社会性 <文>食文化